

# 令和6（2024）年度 准看護師の研修ニーズに関する実態調査 調査結果

目的：県内で活動している准看護師に、必要な知識や技術習得のための研修ニーズについての実態調査を行い、県協会主催の研修に関する課題を検討する。

調査対象：栃木県内の医療機関で活動している准看護師（会員・非会員を問わない）

調査期間：2024年8月29日～2024年9月24日

対象施設：病院107、診療所（会員）37施設

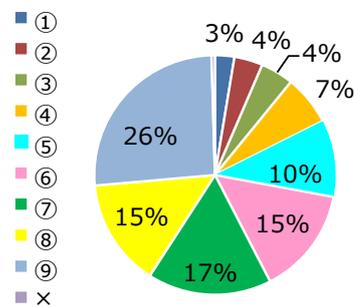
調査票配布数：病院1,677枚、診療所（会員）74枚 計1,751枚

回収数：計655枚 / 回収率：37.4%

## 問1 年齢

・「60歳以上」が170人（26%）と最も多く、次いで「50～54歳」が109人（17%）であった。50歳以上が全体の57%であった。

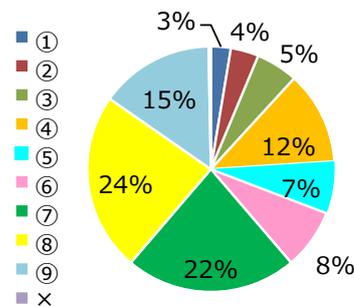
	回答数	比率
① 20～24歳	17	3%
② 25～29歳	25	4%
③ 30～34歳	29	4%
④ 35～39歳	44	7%
⑤ 40～44歳	68	10%
⑥ 45～49歳	95	15%
⑦ 50～54歳	109	17%
⑧ 55～59歳	95	15%
⑨ 60歳以上	170	26%
× 無回答・エラー	3	0%



## 問2 准看護師としての実務経験年数

・21年以上が全体の61%であった。准看護師の年齢層が高いことに比例して、実務経験年数も長いベテラン層の回答が多かった。

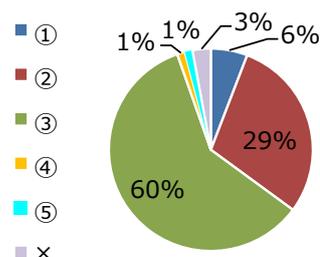
	回答数	比率
① 1年未満	17	3%
② 1～2年	24	4%
③ 3～5年	36	5%
④ 6～10年	80	12%
⑤ 11～15年	45	7%
⑥ 16～20年	52	8%
⑦ 21～30年	147	22%
⑧ 31～40年	154	24%
⑨ 41年以上	98	15%
× 無回答・エラー	2	0%



### 問3 現在の勤務先区分

・「病院（199～20床）」が390人（60%）と最も多く、中小規模病院の准看護師の回答が多かった。

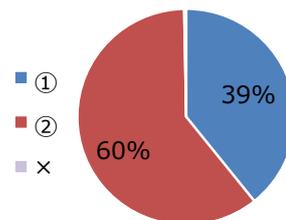
	回答数	比率
① 病院（500床以上）	38	6%
② 病院（499～200床）	192	29%
③ 病院（199～20床）	390	60%
④ 診療所（有床）	8	1%
⑤ 診療所（無床）	8	1%
× 無回答・エラー	19	3%



### 問4 過去5年以内（令和元年度～令和5年度）に栃木県看護協会主催の研修を受講したことがありますか

・「はい」が257人（39%）、「いいえ」が396人（60%）であった。

	回答数	比率
① はい	257	39%
② いいえ	396	60%
× 無回答・エラー	2	0%



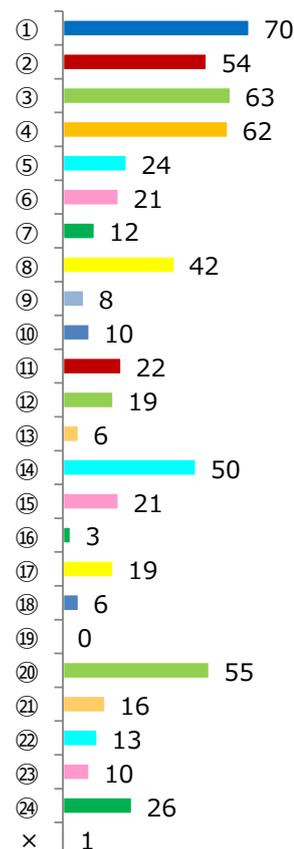
### 問5 受講した栃木県看護協会主催の研修についてお答えください

#### 問5-1) 研修内容【複数回答可】

・多い順から「医療安全」70人、「褥瘡予防」63人、「スキンケア」62人であり、より実践につながるような内容が多かった。

・准看護師のみを対象にした「准看護師ステップアップ研修」は55人であった。栃木県看護協会主催の研修を受講したことがある257人の内、21%が受講していた。

	回答数
① 医療安全	70
② 感染	54
③ 褥瘡予防	63
④ スキンケア	62
⑤ 排泄ケア	24
⑥ 退院支援	21
⑦ 看護記録	12
⑧ フィジカルアセスメント	42
⑨ 看護研究	8
⑩ 意思決定支援	10
⑪ ストレスケア	22
⑫ 感情のコントロール	19
⑬ がん看護	6
⑭ 認知症看護	50
⑮ 糖尿病と足病変予防	21
⑯ 訪問看護	3
⑰ 精神看護	19
⑱ 再就業支援研修	6
⑲ 助産師相互研修	0
⑳ 准看護師ステップアップ研修	55
㉑ 新人多施設合同研修	16
㉒ 2年目レベルアップ研修	13
㉓ 地区支部研修	10
㉔ その他	26
× 無回答・エラー	1

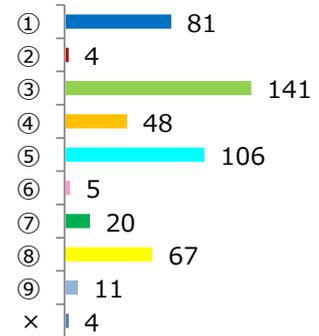


**問5-2) 受講動機【複数回答可】**

・多い順から「知識を得るため」141人、「上司の薦め」106人、「研修のテーマに関心があった」81人であった。

・「その他」の理由としては、加算を得るため、委員であるため等の回答があった。

	回答数
① 研修テーマに関心があった	81
② 講師に関心があった	4
③ 知識を得るため	141
④ 技術を得るため	48
⑤ 上司の薦め	106
⑥ 同僚や知人の薦め	5
⑦ 無料のため	20
⑧ 実践に活かそうな内容であった	67
⑨ その他	11
× 無回答・エラー	4

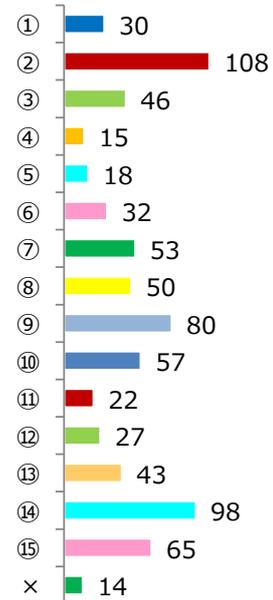


**問6 受講したことがない理由を選択してください【複数選択可】**

・多い順から「業務が繁忙で余裕がない」108人、「研修があることを知らなかった」98人、「グループワークが苦手」80人であった。

・「その他」の理由としては、職場から勧められない、定年を過ぎている等の年齢に関すること等の理由が多かった。また、看護協会に入会していない、院内研修を受けている、進学中のため余裕がない等の理由もあった。

	回答数
① 受けたい研修がない	30
② 業務が繁忙で余裕がない	108
③ 育児・子育て中で余裕がない	46
④ 介護中で余裕がない	15
⑤ 職場の協力が得られない	18
⑥ 休みが取れない	32
⑦ 会場が遠い	53
⑧ 学習が苦手	50
⑨ グループワークが苦手	80
⑩ 受講料が負担	57
⑪ ZOOMやeラーニング研修受講の環境が整っていない	22
⑫ ZOOMやeラーニング研修が苦手	27
⑬ 研修を受けなくても仕事に支障がない	43
⑭ 研修があることを知らなかった	98
⑮ その他	65
× 無回答・エラー	14

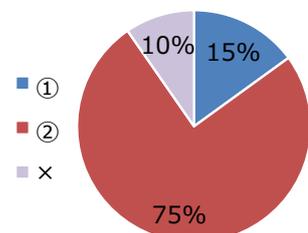


**問7 主催が栃木県看護協会以外の研修を受講したことがありますか（過去5年以内に）**

・「はい」98人（15%）、「いいえ」494人（75%）であった。

・受講した研修（主催）としては、日精看や医師会、赤十字や企業（オムツやコロナワクチン）等の回答があった。また、学研やeラーニング、院内研修等もあった。

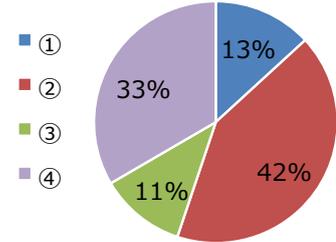
	回答数	比率
① はい	98	15%
② いいえ	494	75%
× 無回答・エラー	63	10%



**問8 受講料についてお答えください**

・「施設負担」275人（42%）が最も多く、「自己負担」86人（13%）、「一部自己負担」75人（11%）であった。無回答は219人（33%）であった。

		回答数	比率
①	自己負担	86	13%
②	施設負担	275	42%
③	一部自己負担	75	11%
×	無回答・エラー	219	33%



**問9 今後、どのような研修があれば受講したいと思いますか【自由記載】**

・回答が多い内容は以下の通りであった。

- ・認知症看護
- ・精神看護
- ・感染対策
- ・看護記録
- ・がん看護・ターミナルケア
- ・急変時の対応
- ・糖尿病・フットケア 等

・既に実施している内容が多かったが、現在、実施していない領域別の精神看護、手術看護、透析看護等の希望もあった。

**問10 研修受講に関して困難に感じていることなどをご記入ください【自由記載】**

・回答が多い内容は以下の通りであった。

- ・グループワークが苦手（司会、書記、発表が苦手、資格の壁を感じる等）
- ・研修受講は看護師が優先される（声がかからない、言いだしにくい等）
- ・会場が遠い
- ・時間が無い・余裕が無い

・研修があることを知らない、准看護師が受講できる研修が限られているとの回答も複数あった。